

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol. 3

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



空の日フェスティバル 9月20日の「空の日」にちなみ、成田国際空港で開催される大型イベント。親子で楽しめる多彩な催しが盛りだくさんです。

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 諸岡 靖彦

地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」

ロータリー特別月間／基本的教育と識字率向上月間

9

2019

September

キーワードはコネクト、クロス・プロモーション、そして戦略計画



ベルリンの壁の崩壊（1989年）以後、米ソ冷戦が終わり欧州の政治経済統合が一挙に進みました。貿易面でもWTO（世界貿易機構）による自由貿易が進展しました。中国のWTO加盟でグローバル経済や貿易の在り方に変化が生じ、直近ではBREXITや米中激突の貿易戦争に到り、各国のポピュリズム台頭など協調から対立へと環境が逆転しました。

日本国内の平成の30年間は、バブルの崩壊や大震災など自然災害で経済不振が続き、日本人の大多数は内向きで閉じこもりがちとなり、束の間のぬるま湯に浸っている観がありました。これでは、ゆでガエルになってしまいます。今こそ外に向かって、分断の世界を克服してゆく行動を起こす時です。国際社会のみならず地域社会でもコミュニティをコネクトし（つなぎ）、関係づくりのクロス・プロモーション（横割りで動く）をロータリーが主導すべきです。これがマローニー会長の「CONNECT」の背景です。

マローニー会長は8月3日から1週間、RI会長として最初の訪問国に日本を選びました。8月3日には八戸で「＜ロータリーは世界をつなぐ＞と行動計画」について講演されました。その要旨を紹介致します。

RIは今年度より「新しい行動計画」を展開します。今後5年間にわたって「1)より大きなインパクト(影響力)をもたらす」「2)参加者の基盤を広げる」「3)参加者の積極的関わりを求める」「4)適応力を高める」ことを骨格とした行動計画を進めます。

1) この行動計画は「世界をつなぐ」ことを意図しています。この計画は結果を重視します。ポリオ根絶のモデルが達成できれば、それがロータリーの記念碑（レガシー）として大きなインパクトをもたらします。そしてこれが変化を引き起こす力を大きくします。

2) 「ロータリーは世界をつなぐ」とは私の信念で

国際ロータリー 第2790地区

2019-20年度 ガバナー 諸岡 靖彦（成田RC）

す。ロータリーの大きな夢、思いやりの心、寛容の精神を世界の人々に知ってもらいたいと願っています。多くの人たちが求める人間同士のつながりの源は、ロータリーにあることを理解してもらいたい、それがロータリーを成長させなければならない理由です。新会員を増やし、現在の会員に充足感を与え、次世代のロータリアンのために会員増強に新しい選択肢を用意するのです。

- 3) 奉仕に参加する人々はやりがいのある体験を求めています。そして自分のことが認められるとワクワクします。ロータリアンの姿や活動を見て、他のネットワークやボランティア団体よりも、私たちと共に全力で進んでくれるでしょう。そこで私は家族的なロータリーになることを望みます。
- 4) 114年の歴史を通じて、ロータリーは世界に持続可能な変化をもたらす新しい方法を見つけることが得意でした。職業を通して組織や奉仕プログラムを前進させる方法を心得ていました。これからの114年間も変化を先取りして新しい奉仕の機会を追求し、リーダーになるための多くの道をつくり、多様な対話を重ねて、自信を持って活動してゆきましょう。

さてクラブの活動も単年度でなく、奉仕プロジェクトの企画・実行も持続可能性を目指すならば、こうした横割りのコネクトを進めることが必要です。クラブ会長は目指すべき基本方向（ビジョン）を示し、会員全員の合意を得て、向こう3～5年の視野で戦略計画を立案します。会員基盤の現実の姿とあるべき姿やカタチ、地域社会の現実と可能性を探ります。実行体制づくりには、クラブ会長のリーダーシップが欠かせません。単年度ではなく持続性ある戦略計画にしてゆくためには前後3年間のクラブ指導者の協同作業は不可欠です。

RIはクラブ組成の最も機能的なモデルを示しています。それはCLP（クラブリーダーシップ・プラン）です。次号ではCLPについて、DLPとの関わりについてお話ししましょう。



諸岡ガバナー年度を迎えて

国際ロータリー 第2790地区
2019-2020年度 ガバナーエレクト 漆原 摂子 (勝浦RC)

当地区でも規模・組織力共に名門でございます成田ロータリークラブより、満を持して輩出されました諸岡靖彦ガバナー年度がスタート致しました。

心よりお祝いを申し上げます。

諸岡ガバナーは、ご自身のガバナー年度のガバナー補佐の方々に対し、早めに地区運営に関するご協力をお願いするという事で、昨年9月、次年度ガバナー補佐初顔合わせ会を開催されました。実質この会議が諸岡ガバナー年度のプレスタートということになりましょう。それ以降、ほぼ月に1回、ガバナー補佐に加え、次年度地区委員長も加えた会議を着実に実施されております。

その諸岡ガバナーの真摯で意欲的なスケジュールリングのご努力の結果は、早くも前月号のガバナー月信内から伺うことができます。各グループガバナー補佐の皆様による所信表明の中で、皆様が諸岡ガバナーの目指すところを的確に捉えられ、グループ内で推奨されるという姿勢には敬服致します。今後開催されますグループごとの情報研修会やIMなども、ガバナー補佐の皆様のモチベーションにより、素晴らしいものになると期待せざるを得ません。

そして諸岡ガバナーは今年1月の国際協議会へ参加され、マローニー会長より発表されたR Iテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を受け、私達に「ロータリーから千葉を元気に」というスローガンをお示しく下さいました。このスローガンを達成するには、まずそれぞれのクラブが所属する地域の活性化が基礎と考えます。

まずはクラブ会員一同団結して、地域のニーズに応えるべく努力をすることにより、最終的には千葉全体が盛り上がり勢いを増す。また地区内すべてのクラブ会員が、改めてロータリアンとしての誇りを感じ、ロータリアンで良かったという喜びを認識することにつながるでしょう。

さて諸岡ガバナーのロータリーに関する豊富な知識経験や、周囲をインスパイアするリーダーシップは、地区内会員の皆様も、既に実施されたPETSや

地区研修・協議会等で体感していらっしゃると存じます。私も、2年前にガバナーノミニー・デジグネートを拝命してからは、諸岡ガバナーと多くの会合にご一緒させていただきましたが、諸岡ガバナーは、とてもご誠実でご立派で、心からご信頼申し上げます。実はこの一文は、60年前に当時の正田美智子様のご婚約発表の際に、皇太子殿下の魅力について記者から問われた折の美智子様のご返答でございますが、まさにそのままのお言葉がぴったりと当てはまるお人柄でございます。

今年度の地区組織図で特筆すべきは、戦略計画委員会の下、「地区リーダー育成会議」および「グループ再編会議」の新設です。前者は、今後地区ガバナーやガバナー補佐を担うべき人材を発掘し育てていく組織、後者は人数や規模に偏りのある地区内14グループの見直しを検討する組織です。この2つの組織が数年かけて機能していけば、あらゆる面において、より良い地区運営が期待できるものと思います。このような組織を設立されました諸岡ガバナーの先見の明には、畏敬の念を抱かずにられません。

諸岡ガバナーを船長とした旗艦「第2790地区号」は晴れて出港致しました。その旗にはR Iテーマならびに地区スローガンが書かれていることでしょう。そしてその船の漕ぎ手は私たちクラブの一人ひとりの会員です。この船の当面の定員は3,000人、これは諸岡ガバナーが目指す地区内ロータリアン数の目標でございます。まだまだ途中乗船も可能ですので、仲間を誘いましょう。

何よりもこの船は、私たち地区内ロータリアンのための船で、素晴らしいクルーズを1年間全うすることができるか否かは、私たち次第。私たちの気持ちと行動にかかっています。それらが足りないと、船は思わぬ方向に進んでしまったり、停まってしまうでしょう。Keep Rowing! いつだって、地区の主役はクラブであり、一人ひとりのロータリアンなのですから。



「祝」 ～順風満帆、諸岡丸の船出に寄せて～

国際ロータリー第2790地区

2019-20年度 ガバナーノミニー **梶原 等** (千葉RC)

諸岡靖彦ガバナーの船出に、一言お祝い申し上げます。

マローニー会長は今年度国際ロータリーのテーマ「ROTARY CONNECTS THE WORLD (ロータリーは世界をつなぐ)」を示し、それを基底に諸岡ガバナーは地区のスローガンとして「ロータリーから千葉を元気に」と掲げられました。

毎年R I 会長が掲げられるテーマですが、私たちロータリアンは新テーマによって、その年度を新たな気持ちで迎えることができます。そして2019-20年度は千葉を元気にするといった具体的なテーマに、私たちのロータリー精神をかき立てて下さいました。

諸岡ガバナーは2020年に迎えるTOKYOオリンピック・パラリンピックに向け、千葉の経済をさらに発展させなければならないとも申ししております。そのタイミングで「ロータリーから千葉を元気に」とされました。

その中には千葉県の持てるポテンシャルを具体的に示され、そこにロータリーがどのように関わるのか？ この関わりから生み出される活動こそが千葉を元気にできると思います。

さすが“成田国際空港”を抱えられる国際都市・成田ロータリークラブ輩出の諸岡ガバナーだからこそ発案できることです。TOKYOオリンピック・パラリンピックにて競技会場・練習会場や宿泊会場になるエリア・各施設など、具体的にはクラブと地域が関われること。各々の事業（仕事・団体等）で関われることがいろいろあるかと思います。

また、2020年は日本のロータリーが100周年を迎える節目の年となります。

特に日本のロータリーはその国民性から職業奉仕を大切にし、奉仕と親睦の両輪を上手に回し、ロータリー活動を行ってきました。その日本のロータリーが押し進めてきたものと世界のロータリーとの間に、方向性の違いや大きな変化が起き始めてきたように感じます。これは、私たちそれぞれのロータリークラブの立ち位置や意識を再確認するタイミングの時期に入ったのかと思います。

それは、今年の4月に開催された国際ロータリー

の規定審議会で採択された制定案では、職業分類による人数の制限を設けないことや、出席補填（メークアップ）の期間の拡大、さらにはR I へのロータリーアクトクラブの加入など、国際ロータリーはさまざまな変化を示し、各クラブ運営に関してはクラブの裁量を重要視しなければならないような方向に向かっております。

この部分については、今年度新たに設けられた研修三委員会から発せられる情報と、私たち自らが研鑽を積み、自分自身の方向性を明確にしていける必要があるかと思えます。

加えて最近ロータリーの広報公共イメージの大切さが大きく取り上げられています。私たちが地域で、あるいは国際社会で活動するロータリーを、もっと広くPRして、わが第2790地区でも「ロータリーから千葉を元気に」のスローガンを理解し活動していかなければなりません。

地域で必要とされるロータリーになることはもちろん、多くの市民にそのロータリー活動を広報する必要があります。私たちはおのおのの地域でロータリアンであり、その地域の職業人です。また、地域の大切な経済人でもあり、大事な広報役の一人ひとりです。

地域で活動をし、さらにその地域の職業人を巻き込み、ロータリーの輪を広げていくことが「ロータリーから千葉を元気に」することにつながり、やがてはクラブの活性化につながります。

82のクラブ数になった、わが第2790地区ですが、2020TOKYOオリンピック・パラリンピック、そして日本のロータリー100周年の機会を上手に融合させ、地区を、さらにはクラブを活性化させられるように私自身も努力していきたいと思えます。

私も、今年度ガバナーノミニーとして諸岡ガバナーの背中を追いかけて、2年後に迫る本番を意識しながら、地区内の各クラブの活性化に向けて少しでもお手伝いをさせていただければと思います。

結びに、諸岡ガバナー率いる「チーム“MOROOKA”」のご隆盛をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。



奉仕プロジェクト統括委員長就任挨拶

国際ロータリー第2790地区

2019-20年度 奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長 **関 一憲** (勝浦RC)

私と諸岡靖彦ガバナーは同期のクラブ会長です。そのご縁で、本年度の奉仕プロジェクト統括委員会委員長という大役を拝命いたしました。諸岡ガバナーのロータリーに対する熱意あるお話を聞かせていただき、微力ですが全力でサポートさせていただこうと思いました。

奉仕プロジェクト統括委員会は4つの委員会で構成されています。三神秀樹委員長率いる「社会奉仕委員会」、高橋潤一委員長率いる「職業奉仕委員会」、吉田朋令委員長率いる「国際奉仕委員会」、山本美代子委員長率いる「青少年奉仕委員会」です。

それぞれの委員会はとても重要な使命や役割を担っています。当然頼りになるのが4人の委員長さんを筆頭とする委員さんたちです。4つの委員会が、お互いの枠を超えた実践活動ができるように努力致します。

この委員会に与えられた使命は、「今までの枠（委員会等）を超えた新たなプロジェクト開発」をお手伝いすることだと私は認識しております。諸岡ガバナーからも「委員会は奉仕プロジェクトの各プログラム担当委員会とつながり、クラブや地区チームに対して、奉仕活動の新しいIdea & Inspirationを提供することが基本使命です」と伝えられております。より実践的なロータリーらしい活動ができるようにクラブをサポートし、クラブの活性化に貢献し、「ロータリーから千葉を元気に」という地区スローガンに向けて行動することが大切なことだと考えます。

委員会からクラブへは、できるだけ多くの奉仕事業の事例を提供したいと考えております。過去の実績からヒントを得て、それぞれのクラブらしいプロジェクトを企画開発し、実践し、奉仕する喜びを分かち合っただけのようなサポートをしていきます。

自クラブの予算で費用を賄えないような大きなプロジェクトを実行する場合、ロータリー財団の補助金等を利用する選択肢もご提案致します。補助金利用にはTRF（ロータリー財団）のルールを順守し

なければなりません。地区補助金は人道的支援と教育的支援に対して利用できます。グローバル補助金は6つの重点分野に対して利用できます。内容ごとに判断が異なりますので、事前のお問い合わせや相談等をいただければ幸いです。また補助金申請までの手続きの支援も致しますので、早めにご連絡をお願い致します。

地区奉仕プロジェクト統括委員会がプロジェクトを開発・推進を担当し、地区ロータリー財団統括委員会が申請されたプロジェクトを審査し、補助金額等を決定するという流れが今後第2790地区内の大きな流れとなるでしょう。地区奉仕プロジェクト統括委員会と地区ロータリー財団統括委員会は、連携を取りながら皆様のクラブのお役に立てるように活動致します。

また、学友会関係と東日本大震災の被災遺児支援の「ロータリー希望の風奨学金」は、奉仕プロジェクト統括委員会青少年奉仕委員会が担当となります。米山学友、ロータリー財団学友、ローターアクト、インターアクト、ROTEX等の学友が、今後は横のつながりを持つために「国際ロータリー第2790地区ロータリー学友連絡協議会」と称されるものが、諸岡ガバナー合意の下、結成されました。これにより今までの学友会の枠を超えた新たな青少年の活動もスタートすることでしょう。

2019年9月28日（土）には、「地区奉仕プロジェクト推進セミナー」を開催予定です。改めて各クラブへご案内文をお届け致しますが、ぜひとも多くの参加をお願い致します。今年度のご担当者の参加はもとより、次年度クラブ活動計画にもつながるような価値あるセミナーを行いますので、ご期待ください。

最後に私の好きな言葉の一つに「知・好・楽」というものがございます。論語が出典と聞いておりますが、結局は何事も楽しんでる人にはかなわないという意味だと理解しています。本年度のロータリーを皆様と共に楽しんでいきます。

委員長就任にあたって



社会奉仕委員会
委員長

三神 秀樹 (千葉南RC)

5大奉仕の1つである社会奉仕活動。地区内の各クラブが主体性を持ち、時には地区補助金(DG: District Grant)やグローバル補助金(GG: Global Grant)等の地区財団活動資金(DDF: District Designated Fund)を活用しながら行っている奉仕プロジェクトを理解し、「リーダーを結びつける、意見を交わす、行動を起こす」(Join Leaders, Exchange Ideas, Take Action)という国際ロータリーの目指す方針の下、行事への参加や支援または他クラブへの紹介を積極的にしようと考えます。

地域によって特色のある活動を互いに知ること、大変意義深いと思います。各クラブが実践して

いる活動が、地域社会の人々のニーズに合致して、社会貢献度が高ければ高いほど、我々ロータリー活動の評価がますます上がり、全国各地や世界各国にその活動は広まることと確信致します。

委員長として「地球規模で考え、地元で活動しよう」(Think Globally, Act Locally)の基本構想で、諸岡靖彦ガバナーの地区スローガンである「ロータリーから千葉を元気に」を合言葉に、最終的には国際ロータリーの目標である「ポリオ根絶(End Polio)」と「世界平和(World Peace)」を目指します。我が地区における社会奉仕事業については、2019-20年度RIテーマである「ROTARY CONNECTS THE WORLD (ロータリーは世界をつなぐ)」が全うできるように、奉仕プロジェクト統括委員会の各委員会とつながり、クラブや地区チームに対して、奉仕活動の新しいIdea & Inspirationを提供できるように誠心誠意努力する所存ですので、何とぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



職業奉仕委員会
委員長

高橋 潤一 (新千葉RC)

2019-20年度国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」と発表され、諸岡靖彦ガバナーは「ロータリーから千葉を元気に」という地区スローガンを示されました。これらを踏まえて職業奉仕委員会の目標を定めスタートしたいと思います。

国際ロータリーは世界初の奉仕クラブ団体です。ロータリーの活動の特色として、クラブごとに独自の事務局を持ち、自主独立運営され、奉仕活動、寄付行為、会員交流、友好事業等が行われていますが社会の変化に伴い、ロータリーもより良い社会、クラブ運営を追求してゆく必要があると考えます。

「ロータリーの目的」は第1から第4まで4つあり、その第2に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」

とあります。

「ロータリーの行動規範」もまた、第1から第4まであり、第3に「自分の職業スキルを活かして若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める」と明記されており、まさに職業奉仕の基礎と考えます。

ジョン・ヒューゴ国際ロータリー事務総長は、ロータリーの新しい戦略計画の中で「革新性と柔軟性」を、1.「より大きなインパクトをもたらす」2.「参加者の基盤を広げる」3.「参加者の積極的な関わりを促す」4.「適応力を高める」と申されています。

DLPにおいては、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の4委員会による奉仕プロジェクト統括委員会が組織され、そのうちの1つが職業奉仕委員会であります。

他の奉仕部門と同じように奉仕プロジェクトの実践が必要です。自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在になることだけで満足するのではなく、クラブが開発した実際の奉仕プロジェクトに積極的に参加することが求められています。自分の持てるスキルを活かして奉仕プロジェクトを企画・実践することが職業奉仕であると思っています。

1年間よろしくお願い致します。

委員長就任にあたって



国際奉仕委員会
委員長

吉田 朋令 (千葉東RC)

私は諸岡靖彦ガバナー年度、国際奉仕委員長を務めさせていただきます吉田朋令と申します。

マローニー会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。

そして第2790地区2019-20年度の諸岡ガバナーのスローガンは、「ロータリーから千葉を元気に」であります。

昨今大国間では、イデオロギー的な観点から経済・貿易摩擦などの対立が激しくなってきました。

ロータリークラブ発祥の地であるアメリカでは、時の政権の方針で自国主義が強まり、ある意味昔の東西冷戦時代を彷彿させる様相になっています。

このような時代に、アメリカ人でありますマローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマは、シンプルではありますが大変インパクトのあ

るメッセージと私は感じております。

R Iにおいて、1922年に初めて国際奉仕に対する具体的な考え方が、「ロータリーの綱領」の中に明文化されました。「奉仕というロータリーの理想に結束した職業人の世界的友好による理解、善意および国際的平和の増進」とうたわれたのです。

私たちロータリアンには国際奉仕に対する基本的理念として、友情と親睦の絆によって国際理解を深め、世界の恒久的な平和を実現しようという熱い思いがあります。

私は国際奉仕委員長として、正に「第2790地区(千葉)から世界をつなぐ」をモットーに、その実現のため尽力させていただく所存です。

具体的には、奉仕プロジェクト統括委員会の他の3委員会(職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕)との連携はもちろん、地区補助金およびグローバル補助金の有効的な活用のため財団委員会とも協力を密にし、各クラブの意向に沿うように情報を発信し、サポートしていきたいと思いますので、1年間よろしくお願い致します。



青少年奉仕委員会(ロータリー学友会担当)
委員長

山本 美代子 (習志野中央RC)

2019-20年度、諸岡靖彦ガバナー年度、青少年奉仕委員会(ロータリー学友会担当)委員長を務めさせていただきます、習志野中央ロータリークラブ所属の山本美代子です。

青少年奉仕委員会は奉仕プロジェクト統括委員会の中にある委員会です。学友会担当とはいえ、米山学友、ロータリー財団学友、ローターアクト、インターアクト、ROTEX、RYLA等がそれぞれ素晴らしい活動をされていますので、青少年奉仕委員会の立ち位置が理解しにくいところがありました。

今後、学友たちが共同で活動できるよう、また、大きな輪につながるよう、国際ロータリー第2790地区ロータリー学友連絡協議会が、諸岡ガバナー合意の下、結成されました。これにより学友会ごとの執行部が横のつながりを持ち、スムーズに連携を取

り合える環境が整いました。

今後は、ロータリー学友連絡協議会が中心になって情報発信していき、青少年奉仕委員会と一緒に活動してまいります。

また、年度内に人道的イベントを学友の皆さんと共同で実施できればと思っております。より一層の活性化を目指し、ロータリアン・青少年・学友たちと手をつなぎまして、情報交換・情報共有しながら行動の実践に努めてまいります。

ロータリー希望の風奨学金も担当しております。ロータリー希望の風奨学金は、国内外ロータリークラブ会員有志によって立ち上げられたプログラムです。東日本大震災により災害遺児となった青少年たちに、少しでも学業を継続できるように、教育支援をしていきたいという願いから立ち上げられました。

遺児の方々が高校を卒業してその先、大学・短大・専門校に進学した際、就学の間は毎月5万円、返済不要の奨学金を支給する制度です。震災遺児の成長にとっても役立っています。資金の続く限り続けていくプログラムですが、震災遺児が学業を終了するであろう2033年3月に終了する、期間限定のプログラムです。ご理解ご協力をお願いします。

「第2790地区」新たな取り組みにむけて

月信委員会より「ガバナー月信」発行部数削減のお願い。

日頃は、国際ロータリー第2790地区の活動に対しまして、ご尽力ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2019-20年度ガバナー補佐・地区委員長会議も回を重ねて行く中、「ロータリアンだからこそ紙ベースの資料を減らしていくことに努め、森林破壊抑制を意識すべきでは」というご提案が取り上げられました。これに伴い、4月20日に開催致しました地区研修・協議会の幹事部会にて「各クラブにおける情報伝達に関するアンケート」を実施致しました。

このアンケートは各クラブにおかれまして、地区からクラブへと配信された伝達事項を各クラブ内にてどのような伝達手段を用いているのか？ また、各クラブにて通信手段がFAXのみという会員は会員数の何パーセントぐらいなのか？というアンケート調査でした。

現在、ガバナー月信は会員数分の冊数を発送している他に、地区HPにもPDFファイル形式にて掲載しています。この現況を踏まえまして、「ガバナー月信を地区HPよりダウンロードしていただき、紙媒体として必要な方のみプリントアウトしていただくことで、発行部数を削減し、紙資源の節減に貢献できる」と考えます。

アンケート結果は、伝達手段がFAXのみというクラブは約1割、各クラブ内におかれまして通信手段がFAXのみという会員の割合は、約7割のクラブが30%以下でした。

これらを勘案いたしまして、「ガバナー月信10月号」の発行部数削減を試験的に実施いたします。

削減する割合ですが、原則、各クラブ8月末時点での会員数の約7割（一律30%削減）+事務局分2冊とさせていただきます。初めての試みですので、諸般の事情により「30%削減では困る」というクラブがございましたら9月13日までに「〇〇クラブでは〇〇冊必要」とガバナー事務局までご連絡ください。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 諸岡 靖彦
月信委員会 委員長 齊藤三智夫

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



森島 庸吉
(船橋西RC)



石川 邦紘
(成田コスモポリタンRC)



寺嶋 哲生
(柏RC)



飯生 高一郎
(八千代RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



諸岡 靖彦
(成田RC)
11回目



日暮 肇
(柏西RC)
8回目



青木 忠茂
(船橋RC)
7回目



齊藤 三智夫
(成田RC)
4回目



堀口 路加
(成田RC)
4回目



滝澤 尚二
(成田RC)
4回目



高田 新也
(柏RC)
4回目



小田島 國博
(銚子RC)
3回目



網中 吉郎
(銚子東RC)
3回目



杉浦 昌則
(松戸西RC)
3回目



中島 広明
(習志野中央RC)
3回目



伊藤 公一
(柏RC)
2回目



児玉 隆晴
(柏RC)
2回目



松丸 隆一
(柏RC)
2回目



関 学
(柏RC)
2回目



鍋田 禮司
(習志野RC)
2回目



尾形 文貴
(千葉幕張RC)
1回目



今山 利猛
(柏RC)
1回目



仙田 和雅
(柏RC)
1回目

新ポールハリスフェロー



大島 剛
(千葉幕張RC)



丸山 高志
(柏RC)



中島 卓朗
(柏RC)



寺田 英史
(柏RC)



高橋 勝
(習志野中央RC)

ベネファクター



諸岡 靖彦
(成田RC)
3回目



高橋 四郎
(習志野中央RC)
1回目

新ベネファクター



結城 綾子
(柏RC)



白鳥 政孝
(市原RC)



諸岡 靖彦
(成田RC)



崎山 征雄
(習志野中央RC)



成田 温
(成田RC)

ポリオプラス

米山功労者



森島 庸吉
(船橋西RC)
123回目



石川 邦紘
(成田コスモポリタンRC)
73回目



白鳥 政孝
(市原RC)
22回目



高木 恒雄
(船橋西RC)
20回目



小林 通成
(習志野RC)
18回目



得居 仁
(松戸東RC)
18回目



関口 宏
(松戸西RC)
15回目



伊藤 謙三
(八街RC)
14回目



諸岡 靖彦
(成田RC)
12回目



猿田 正城
(銚子RC)
10回目



由川 久子
(習志野RC)
9回目



堀口 路加
(成田RC)
7回目



成田 温
(成田RC)
7回目



青木 忠茂
(船橋RC)
6回目



風間 茂
(八千代RC)
6回目



椎名 博信
(習志野RC)
5回目



鍋田 禮司
(習志野RC)
4回目



友野 俊政
(柏南RC)
3回目



高橋 四郎
(習志野中央RC)
2回目



三田 英志
(習志野中央RC)
2回目



高橋 勝
(習志野中央RC)
2回目



花澤 剛
(習志野中央RC)
2回目



小泉 英夫
(成田RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



高橋 伸知
(千葉北RC)
飲食業
4月22日入会



石井 敬二
(成田空港南RC)
食品販売業
6月12日入会



安藤 将之
(千葉RC)
損害保険
7月1日入会



橋本 守世
(千葉RC)
生命保険
7月1日入会



菅原 裕輔
(東金RC)
美術工芸
7月2日入会



仲井 琢磨
(茂原中央RC)
家財整理業
7月2日入会



上村 英生
(我孫子RC)
鉄骨工事
7月2日入会



安川 匡
(船橋南RC)
建物管理
7月3日入会



中井 知香
(習志野中央RC)
賃貸業
7月4日入会



松村 洋平
(習志野中央RC)
飲食店
7月4日入会



山本 尚有樹
(習志野中央RC)
建設業
7月4日入会



境 麻千子
(千葉RC)
電話事業
7月8日入会



梶原 祐理子
(千葉RC)
全国放送
7月8日入会



平松 孝朗
(千葉RC)
移動通信
7月8日入会



稲村 幸仁
(千葉RC)
銀行
7月8日入会



佐々木 康祐
(船橋みなとRC)
建築内装業
7月9日入会



安中 史彦
(千葉北RC)
僧侶
7月9日入会



石渡 琢朗
(船橋南RC)
電話事業
7月10日入会



阪中 昌司
(木更津東RC)
損害保険代理業
7月10日入会



根本 光宏
(木更津東RC)
都市ガス・電力事業
7月10日入会



寺久保 修也
(館山RC)
生命保険
7月10日入会



古本 賢隆
(佐倉RC)
地方銀行
7月11日入会



落合 精一
(柏西RC)
地方銀行
7月12日入会



澤部 一城
(銚子東RC)
地方銀行
7月16日入会



関 恒明
(成田RC)
運輸・空港管理
7月19日入会



大木 建樹
(君津RC)
貯蓄銀行
7月22日入会



尾崎 広隆
(袖ヶ浦RC)
石油精製
7月22日入会



飯沢 卓司
(松戸西RC)
建売住宅
7月23日入会



神崎 俊明
(成田コスモポリタンRC)
小売業(免税店)
7月24日入会



新井 幸雄
(成田コスモポリタンRC)
ドライアイス製造
7月24日入会



郡司 秀典
(成田コスモポリタンRC)
食品加工
7月24日入会



石橋 孝浩
(成田コスモポリタンRC)
機内食
7月24日入会



金高 盛二
(成田空港南RC)
菓子製造業
7月25日入会



立石 真辞
(成田RC)
百貨店・ショッピングセンター
7月26日入会



太田 耕造
(市川シビックRC)
環境衛生
7月29日入会



原田 健夫
(君津RC)
電気事業
7月29日入会



孫 莉玲
(富津中央RC)
医師(循環器内科)
8月1日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 暫定出席記録・会員数報告(2019年7月)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	91.85	3	42	3	41	3	△1
	市川東	100.00	4	42	2	42	2	0
	市川南	83.00	4	23	2	23	2	0
	浦安	93.50	3	42	1	42	1	0
	市川シビック	85.41	4	33	0	34	0	1
	浦安ベイ	75.55	3	15	0	15	0	0
第2グループ	平均	88.22	3.50	32.83	1.33	32.83	1.33	0
	船橋	88.61	4	30	0	30	0	0
	船橋西	87.50	4	39	7	39	7	0
	鎌ヶ谷	77.08	4	30	2	30	2	0
	船橋東	86.49	4	29	2	30	2	1
	船橋南	82.00	5	11	1	13	1	2
第3グループ	船橋みなと	92.55	4	18	4	19	4	1
	平均	85.71	4.17	26.17	2.67	26.83	2.67	4
	千葉	85.49	4	96	3	102	5	6
	新千葉	78.44	4	55	0	55	0	0
	千葉西	86.87	4	50	4	51	4	1
	千葉中央	94.07	4	27	0	26	0	△1
第4グループ	千葉幕張	75.00	4	34	3	37	4	3
	千葉東	79.39	4	28	2	30	2	2
	千葉若潮	70.94	2	30	1	32	1	2
	平均	81.46	3.71	45.71	1.86	47.57	2.29	13
	千葉南	83.14	3	47	7	47	7	0
	市原	64.39	2	52	4	52	4	0
第5グループ	千葉港	91.21	2	25	4	25	4	0
	市原中央	85.54	5	47	1	47	1	0
	千葉北	69.77	4	29	4	30	4	1
	千葉緑	95.23	3	21	1	21	1	0
	平均	81.55	3.17	36.83	3.50	37.00	3.50	1
	木更津	77.70	3	31	5	31	5	0
第6グループ	上総	58.30	4	14	0	15	0	1
	富津中央	72.63	4	35	2	37	4	2
	木更津東	92.29	4	44	5	46	5	2
	君津	70.58	4	57	5	58	5	1
	袖ヶ浦	86.28	4	24	4	25	4	1
	富津シティ	76.80	5	15	1	14	1	△1
第7グループ	平均	76.37	4.00	31.43	3.14	32.29	3.43	6
	館山	79.76	4	46	4	46	4	0
	鴨川	92.03	5	34	5	34	5	0
	勝浦	94.20	3	41	5	46	6	5
	千倉	56.25	4	4	2	4	2	0
	鋸南	80.00	3	15	2	15	2	0
第8グループ	館山ベイ	67.39	4	24	0	24	0	0
	平均	78.27	3.83	27.33	3.00	28.17	3.17	5
	茂原	82.55	3	58	4	60	4	2
	東金	87.99	4	19	1	20	1	1
	大原	81.33	3	10	1	10	1	0
	大多喜	86.66	3	5	1	5	1	0
第9グループ	成田空港南	76.36	3	31	0	32	0	1
	茂原中央	75.46	4	20	2	22	2	2
	大網	78.45	4	29	1	29	1	0
	東金ビュー	69.00	2	16	1	16	1	0
	平均	79.73	3.25	23.50	1.38	24.25	1.38	6

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	86.41	5	39	3	39	3	0
	旭	69.80	4	43	4	43	4	0
	八日市場	66.40	3	38	3	38	3	0
	銚子東	70.32	5	33	2	33	2	0
	平	73.23	4.25	38.25	3.00	38.25	3.00	0
	平均	73.23	4.25	38.25	3.00	38.25	3.00	0
第9グループ	佐原	70.98	4	48	0	49	0	1
	多古	73.22	4	16	0	16	0	0
	小見川	83.30	4	27	0	27	0	0
	佐原香取	86.25	4	24	1	24	1	0
	平	78.44	4.00	28.75	0.25	29.00	0.25	1
	平均	78.44	4.00	28.75	0.25	29.00	0.25	1
第10グループ	成田	66.13	4	65	4	64	4	△1
	八街	91.87	3	30	3	30	3	0
	印西	78.10	4	16	1	16	1	0
	白井	68.74	4	12	1	12	1	0
	富里	77.09	4	30	0	30	0	0
	成田コスモポリタン	69.91	4	67	0	71	0	4
第11グループ	平均	75.31	3.83	36.67	0.83	37.17	0.83	3
	柏	80.00	4	65	10	66	10	1
	我孫子	74.21	5	31	3	32	3	1
	柏西	87.31	4	64	3	64	3	0
	柏東	71.50	4	41	8	41	8	0
	柏南	77.92	4	41	9	41	9	0
第12グループ	平均	78.19	4.20	48.40	6.60	48.80	6.60	2
	習志野	82.22	5	24	1	26	1	2
	八千代	95.31	4	52	0	52	0	0
	佐倉	67.12	4	37	3	38	3	1
	八千代中央	80.00	4	23	1	23	1	0
	四街道	73.08	5	29	4	28	4	△1
第13グループ	習志野中央	68.62	4	47	4	50	5	3
	佐倉中央	74.88	4	23	5	23	5	0
	平均	77.32	4.29	33.57	2.57	34.29	2.71	5
	松戸	95.49	4	60	0	59	0	△1
	松戸東	91.41	4	49	0	49	0	0
	松戸北	79.67	4	33	0	33	0	0
第14グループ	松戸中央	86.18	4	42	7	42	7	0
	松戸西	93.10	4	29	0	30	0	1
	平均	89.17	4.00	42.60	1.40	42.60	1.40	0
	野田	78.31	4	54	6	54	6	0
	流山	76.19	3	14	3	14	3	0
	野田東	59.72	4	18	0	18	0	0
第15グループ	流山中央	88.30	3	21	2	22	2	1
	野田セントラル	80.42	4	25	1	25	1	0
	平均	76.59	3.60	26.40	2.40	26.60	2.40	1

クラブ数 82RC

2019年7月1日	地区会員数	2,777人
2019年7月末日	地区会員数	2,824人
2019年7月1日	地区女性会員数	201人
2019年7月末日	地区女性会員数	208人
当月平均出席率		80.63%
増減		+47
女性会員増減		+7

「ロータリーレート」のご案内

2019年7月1日より、ロータリーの為替レートは各月初日の市場実勢相場に基づくこととなりました。

ロータリーレートのご確認につきましては、右記QRコードから「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

↓地区HP





【青少年交換派遣認証書授与式の報告】

世界に羽ばたくロータリー青少年交換生6名の誕生！

国際ロータリー第2790地区

2019-20年度 青少年交換委員会

委員長 **小菅 和彦** (習志野中央RC)



今年も、世界に羽ばたくロータリー青少年交換生が誕生しました。6月16日（日）16：00～三井ガーデンホテル千葉・白鳳の間にて、「青少年交換派遣認証書授与式」が開催され、我が第2790地区から長期派遣生3名、短期派遣生3名の計6名が、ロータリー青少年交換プログラムの高校生国際親善大使として、地区ガバナーから正式に認証されました。



また、カナダからの来日生ジャクリーンと、アメリカからの来日生アリアナの2人については、当地区ガバナーから、あらためてロータリー青少年交換長期プログラムに参加したことを認定されました。

授与式に引き続き、歓送会へと移行しました。楽しい会食パーティーの合間には、これまで数々のオリエンテーションや沖縄スプリングキャンプなど、学生たちにとっては苦あり楽あり、思い出が詰まったフォ

トビデオを全員で鑑賞し、また、ガバナーエレクト・ノミニ・デジグネートなど地区役員の方々をはじめ、お世話になった各クラブ会員、保護者からの温かい歓送のお言葉やスピーチをいただき、笑いあり涙ありの盛りだくさんの会食でした。当委員会メンバーとしましては感無量のひと時でした。



あらためまして、青少年交換生となった6名をこれまで支えていただいた保護者の皆様、また、スポンサークラブの皆様には、心から感謝を表し御礼を申し上げます。また、ジャクリーンとアリアナの来日生2人を約1年近くにわたり、物心両面支えていただいた、ホストファミリーの皆様、ホストスクールの教諭の方々、さらにホストクラブの皆様に対しても心から感謝を表し、御礼を申し上げます。



ロータリーの友月間 「積んどく？ いや、読んどく」

2019-20年度ロータリーの友

地区代表委員 **長原 正夫** (成田RC)



2019-20年度 一般社団法人ロータリーの友委員会が、2019年7月1日（月）にグランドプリンスホテル高輪にて開催され、下記のような会議がありました。

「ロータリーの友」地区代表委員の引き継ぎがあり、「友」を支えるロータリーの友地区代表委員はどんなことをするのか、役割について旧地区代表委員からのご指導がありました。

1. どんなことをしているか？

地区代表委員には、オリエンテーション、ゾーン別会議を含め年4回の会議に出席して、各地区の情報を報告する役割。各地区内のクラブの奉仕活動や話題になっていること、課題点など会員の視点で

もたらされている情報など、毎月リポートを提出します。

2. 地区代表委員の声にお応えして。

「友」の現場の顔が見えないので親近感を持ちにくい、というご意見があり、今年号より編集スタッフが顔を出しています。「ロータリー手帳」など「友」以外の出版物へのご意見もいただきたい。

3. 地区代表委員以外のロータリアンの皆様へ

編集部からは地区代表委員に、「こんな情報が欲しい」「あんな情報も欲しい」とさまざまな情報提供をお願いしています。

2019-20年度 国際ロータリークラブ第2790地区

地区大会記念ゴルフ大会

開催
日時

2019年10月21日(月) 雨天決行

開催
場所



ゴルフ倶楽部 成田ハイツリー

〒289-2303 千葉県香取郡多古町大門659 TEL: 0479-75-1141

開催要項

●競技クラス

女子の部／男子の部／シニアの部（70歳以上）／クラブ対抗戦（団体の部）
※クラブ対抗戦実施方法：各クラブチーム3名の選手を予めご登録願います。

●競技方法

18ホールストロークプレー 新ペリア方式

●アトラクション

ドラコン・ニアピン

料金

プレーフィ：21,000円

キャディ付／乗用カート／昼食（ワンドリンク付）／パーティ代含む
※ゴルフ場にて各自ご清算ください。

登録料：10,000円

※クラブで取纏めのうえ一括にてお振込み願います。

ポリオ寄付金：4,000円

参加方法

各クラブにはメールでご案内をお送りします。 9月2日より登録開始
内容をご参照のうえ、WEBサイトにてお申し込みください。



2019-20年度の国際ロータリー第2790地区大会の記念ゴルフ大会を2019年10月21日(月)にゴルフ倶楽部成田ハイツリーにて開催いたします。このゴルフ大会は地区内ロータリアンの親睦をはかるためと「ロータリー希望の風」奨学金へのチャリティー募金を目的としております。

定員には限りがございますが、多数の会員のご参加をお待ちしております。

ガバナー 諸岡 靖彦
地区幹事長 堀口 路加
ゴルフ大会会長 小宮山四郎
ゴルフ大会実行委員長 永井 秀和

※大会規則及び競技要項、組合せ等は後日お知らせ致します。